**事業所自己評価シート**

**令和５年度**

保護者による評価

Ａ環境面

・環境面で不満の声はなかった。

Ｂ児童への支援内容

・活動でいろんな場所へ行くのでありがたい。

・外部と交流する機会があったら教えてほしいい。

Ｃ事業所からの情報発信

・父母会を開催していない。

・支援内容や児童の様子の説明を受けている

Ｄ非常対応

・緊急時の急な受け入れも行っている。

職員による自己評価

Ａ環境面

・日中活動支援との多機能型の事業所のため施設内の人数が多くスペースの確保が難しい。

Ｂ児童への支援内容

・事前の打ち合わせで児童について共有し、各々が主体的に活躍できるように努めている。

Ｃ関係機関との連携

・関係機関と連携し情報共有しご家族、ご本人への支援を深めた。

Ｄ保護者への説明責任・信頼関係

・面談では90分～120分実施し個別支援計画、モニタリングだけではなく、生きづらさなどより深い話も伺っている。

Ｅ非常対応

・

・感染予防のお知らせを配布した。

・ご家族のレスパイトを目的に法人内の短期入所施設の利用を促した。

事業所内での分析

【共通点】

・活動や児童について深く打ち合わせを行っているため、活動では色々経験させていただきありがたいというお言葉もいただいている。

・父母会を開催していないこと。（アンケート集計後2024年3月5日実施）

・ご家族やと信頼関係が築けていること。

【相違点】

・ご家族から環境面で不満の声はなかったが、やはり現場の職員からスペースが足りないという回答が多かった。

分析・検討してみて…

事業所の強み

事業所の改善点

・

・夏休み等の長期休みの職員の休憩時間の確保

・防災訓練の打ち合わせも必要

・緊急時の受け入れ体制ができている。

・非常時、短期入所での対応も可能。

・ご家族の大変な話など聴いて相談しやすい環境を作っている。

・災害時の対策として防災用品の備蓄をしている。

・法人内の作業所やグループホーム見学も可能なため将来展望が描きやすい。

・個別支援計画も本人が本当にやりたいこと、やってみたいことなど改めて考えなおし深めた。

・年度末に父母会を開催し、活動の様子についての振り返りや質疑応答を行った。初めてお会いする母親同士でも挨拶して情報交換して有意義な会となった。

・感染対策は継続している。

・以前から実施しているが、活動を外と中で分けて室内のスペースを確保しているが、天候に左右された場合、外の資源にも限りがありかなり工夫しながら日々過ごしている。

事業所の改善への取り組み

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

・ここ何年か新型コロナウィルスの影響で外での活動を自粛し、オンラインを推奨して対面の面談なども控えてきたが、2023年度は外の活動を積極的に行い、父母会も年度末に実施できた。ただ色々なことを行い支援の質を上げるためにはどうしても人手が必要になってくる。今まで工夫してきたつもりだが、つまるとこ工夫とは誰かがどこかで妥協し支援の質を下げることに繋がっている。こどもが放課後デイで発散できる満足した活動を行い、家ではストレスを発散せず本人、ご家族が当たり前のように安心して生活できる、そんな文化を作っていくため2024年度も積極的に活動していきたい。

事業所名　　うれしの

担当者　福山　悟